

令和3年度出土遺物公開事業 「らくがく縄文館」講座（第3回）

令和4年2月5日（土）13時30分～14時40分

袖ヶ浦市根形公民館

演題

「茅山式土器の移り変わり」（第4章 土器型式の移り変わり関連）

茅山式土器は、神奈川県横須賀市の茅山貝塚から出土した土器を軸として縄文時代早期の末葉に位置付けられた型式で、古い方から順に野島式→鶉ガ島台式→茅山下層式→茅山上層式の4型式に細分されています。「縄文土器」ながら、その多くは「条痕文」という特徴的な器面調整で覆われている土器群の変遷を、文様や器形に注目しながら辿ります。

